

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2023年12月 No.8



師走に入り、いよいよ冬らしい寒い日が増えてきました。急激な気温低下や人々のコロナ以降の免疫低下のせいか、各小中学校ではインフルエンザによる学級閉鎖が急増し、医療関係者からも、警報クラスの流行であるというメッセージが伝わってきました。今学期もあとわずかです。最後まで元気に学習に取り組めるよう、体調管理には十分気をつけてほしいと思います。

さて、今月号では、11月の在籍校訪問で行った難聴理解授業の事後アンケート(児童)の一部について紹介します。

難聴理解授業の感想

自分の話し方を振り返って課題に気付いたり、これからどうしたいかについて言及したり、級友以外の難聴児との接し方に思い至ったりしていました。

◇分かったことは、難聴と言っても色々な聞こえ方があるということ。気付いたことは、自分が小さい声で話していたということ。(小さい声で話すとは難聴の人は聞き取れないから。)【A小5年生】

◇自分の身内に聞こえにくい子がいるので、その子に対しての接し方を学べて良かったです。【A小5年生】

◇65 dBくらいの声で話したり、後ろから話さないで前に回って話したり、「もう一回話して」と言われたら素直に「いいよ」というようにしたりしたいと思いました。【A小5年生】

◇授業のときにちょっとうるさくしていたかもしれないから、うるさくしないようにする。Aさんとしゃべるときも、大声でなく、Aさんの聞こえやすい大きさの声で話す。【B小6年生】

難聴理解授業を受けて、もっと知りたいこと

更に知りたいことを率直に書いてくれました。難聴に関することへの関心が広がり、知ろうとする行動に結びつけば良いと思います。また、今回の感想は、今後の難聴理解授業の参考にしたいと思います。

◇補聴器をつけながらの生活がどんな感じなのかを知りたいと思いました。【B小6年生】

◇補聴器をつけている人に、どうやったらもっと話をうまく伝えられるか。【A小5年生】

◇今日は難聴のことについて知ったので、今度は手話について知りたいし、実際にやってみたいと思いました。【A小5年生】

◇聴覚特別支援学校は、他の学校と何が違うのか知りたい。【A小5年生】

お知らせ ~第3回「通級生の集い」について~

2月17日(土)に、第3回「通級生の集い」を行います。

場所は**大里生涯学習センター**で、時間は午前9時30分~11時45分です。

内容は、「学習のまとめの発表」、「交流活動」「保護者の情報交換」等です。詳細はコクーの送信にてお知らせします。(※この日は指導日となっています。)

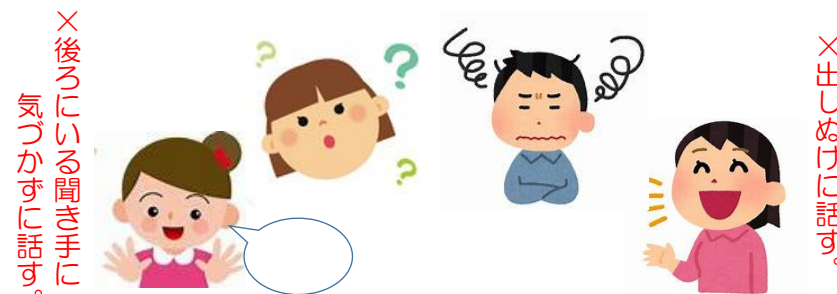


12月のスキルちゃん

～伝えるため、伝わるための
子ども側の姿勢～

***子どもが話しているとき、難聴児は話し手を見ていますか。**

- ・ 教師が話し手を見るよう促す。
- ・ 教師が話し手の方に身を乗り出したり、教師が話している子の後ろに立ったりして、難聴児に話し手への関心をもたせる。
- ・ **話す子ども自身が注視を促す。「見てください。」**
- ・ 人数が多い場合は、話し合いのルールを作る。
(例 話したいときは挙手、指名されたら話すなど)



話し手を見るよう促すことで、傾聴態度を育て、相互読話が円滑にできるようにしていきましょう。

コミュニケーションは、双方の歩み寄りです。また、話し手の顔を見たりうなずいて聞いたりすることは、社会に出た時のマナーとしても大切です。